



Sasayama Elementary School

# 学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

平成30年 1月 9日発行

平成29年度 第9号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

## 新年を迎えて

～ 一年の計は元旦にあり ～

学校長 三瓶 徹

平成30年（2018年）が始まりました。笹山小学校の屋上から富士山を眺めると、一段と雄大さを感じます。子どもたちも富士山のように堂々として、どの人の心も温める存在に育ってほしいと願っています。

さて、新年に聞く言葉で、「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。一年間の目標や計画は、元旦に決めるのがよいということであったり、何事も最初に計画や準備が大切であり、初めの計画ができていないと物事はうまくいかない。という意味のことわざになっています。

「一年の計は元旦にあり」の由来を調べてみますと、次の二つが有力といえます。

一つめの説は、戦国時代の智将、毛利元就が言った言葉です。「一年の計は春にあり、一月の計は朔（ついたち）にあり、一日の計は鶏鳴（一番鶏が鳴く早朝）にあり」

何事も最初が肝心であるということ在意図したと言われていました。また、毛利元就は、「世の者どもは、恵方を拝んで屠蘇を飲み、長寿・子孫繁栄を祝って浮かれているが、元旦はそんなのんきなものでなく、年の初めに一年の事をじっくり考える。それが本当の祝いというものである」という言葉も残したとも言われています。

二つめの説は、中国の書物「月令広義・春令・授時」に「一日の計は晨（あした）にあり、一年の計は春にあり」とあるのに基づいています。晨（あした）は朝という意味で、春は中国の暦でいう正月という意味なので、「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」となったそうです。

まずは、年頭に「一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だということ」をして、「何が」必要で、「いつ、何を」すべきかを明確にした上で、「今日、何をすべきか」を考えることが理想といえるでしょう。

新年のスタートを順調に切り、残りの少ない学年をしっかりと終え、次のステージへ歩めればと思います。

昨年は、本校の教育活動にご支援をいただきありがとうございました。今年もさまざまな活動にお力添えをよろしくお願いいたします。なお、厳しい寒さゆえ、体調を崩さぬよう、ご家庭でも健康管理をよろしくお願いいたします。